

## 丹沢：三ノ塔夜間歩行&ビバーク訓練

- ◆日程 2022年11月12日(土)～13日(日)
- ◆メンバー L：ST、SD、KN、OT、TY
- ◆天候 晴れ

昨年は畔ヶ丸で行われたビバーク訓練、今年の舞台は風が良く通る三ノ塔山頂だ。滝沢園で自身初のツェルト泊を行ったので、ビバークも体験すべく今回初参戦した。(記：OT)

### 11月12日(土) 天候：晴れ

バスを降り立ったヤビツ峠ではオープン間もないカフェが目を引く。当時の皇太子殿下に納めたというレシピを再現したというロイヤルカレーが売りだ。次回是非食べてみたい。

暗くなるのを待ってスタート。先頭を交代しながらゆっくり進む。ヘッドランプを消してみると月の薄明かりで僅かに足元は見えるが、樹林が濃い場合はやはりヘッドランプは必須。本来、ビバークは周囲が暗くなる前に場所選びを開始すべきと実感。天気よく、空気は暖かい。二ノ塔に近づいた頃、鹿に遭遇した。三ノ塔に到着し、避難小屋の脇、風下側に並んで設営。砂利が敷いてあるが、ペグはうまく打ち込める。ポールとして使うストックからはしっかりと張り綱を張ったので多少の風でも大丈夫だ。

就寝前は避難小屋の中でお楽しみの夕食会。SDさんが南部市場で仕入れてくれた焼肉が最高にうまかった。しっかりとスタミナをつけて9時就寝。自身はどこまで耐えられるかを試した。まずは、銀マットを敷いた上に、ダウンジャケットとダウンパンツ、足はザックに入れておく。寒くてすぐ目が覚める。レインウェア上下を追加、それでも目が覚める。1時半頃トイレに出ると月明かりのなか、蛭ヶ岳などに並んで富士山がクッキリ！次にレスキューシートを羽織る。下半身の熱が逃げにくくなったが、下からの冷え込みが気になり目が覚める。そこで、エアマットを出す。大分楽になったがやはり寒さで目が覚める。寒さ体験はここまでとし、残りの1～2時間は最終手段のシュラフにくるまり熟睡。(記：OT)

CT：ヤビツ峠 16:40 - 表尾根登山口 17:08 - 三ノ塔 18:43 (ビバーク)

### 11月12日(土) 天候：曇り時々晴れ

4時半起床。小屋で朝食を取り、6時出発。天気が崩れる予報通り、周囲も曇り気味だが、高度を下げると雲から抜け、隣の大倉尾根が明るく照らされている。山岳スポーツセンターにて遭難救助講習会に参加するTYさんと別れ、ゴール。貴重なビバーク体験を近場で出来き、有り難い。百聞は一見に如かず。平常時こそ多くの人に体験して頂きたい。(記：OT)

CT：三ノ塔 6:00 - 牛首 7:30 - 山岳スポーツセンター 8:12 - 大倉 8:24

